

若者円卓会議

図 連携推進課 ☎ 43 - 7510

隔月で円卓会議の活動をご紹介、今回は「国際部会」です。

市内に住む外国人の数をご存知ですか？2025年2月末時点で152人。総人口に対する割合は0.7%なので多くはないですが、今後増加する見込みもあり、その方々の多くは市内で様々な役割を担っています。また最近では、漫画やアウトドア施設などの影響でインバウンド需要も高まったり、コロナ禍を経て姉妹都市等との国際交流も再開したりと、グローバル化を感じる機会が増えています。

都道府県ごとに寛容性の高さを調べた調査によると、寛容性が低い地域ほど人口流出が激しく、2023年の調査では秋田県の寛容性の低さは全国2位。一方で外国人に対して寛容な地域ほど、総合的な寛容性も高いという結果から、誰にとっても暮らしやすく、人々が住み続ける地域であると言えます。

寛容とは、自分とは違う考えを認め、相手の立場に立って考えること。つまり歩み寄りです。見た目から外国人だと判断し「〇〇人は～だから」と勝手な偏見を持ったり、「日本語がわからない」と決めつけて仲間にいれないなどは、“マイクロアグレッション”といって相手を傷つける行為。無意識に陥



vol. 2
国際部会について
地域プロジェクトマネージャー
國重 咲季 くにしげ さき



▲ 昨夏のショウニー市訪問団と仁賀保中学生の交流の様子

りやすいですが、それが日本人であれ外国人であれ、その人が当たり前と思うことはそれぞれ違うのだという前提に立ち、他人を勝手なカテゴリーに当てはめず、誰とでも個人として向き合うことができれば、寛容な社会に近づくはずです。

国際部会では、多様なバックグラウンドを持つメンバーで、外国から来た人も日本語を勉強中の人も、誰もが暮らしやすいまちになればとの思いで少しずつ仕組みを整えていきたいと思っています。3月にはワークショップも実施。今後も開催予定なので、ぜひご参加ください。

※LIFULL HOME' s総研。「地方創生の希望格差」、2023

円卓会議委員募集中！

右のQRコードから公式LINEに登録し、ご連絡ください。



鳥海山・飛島ジオパーククリレーコラム ～日本海と大地がつくる水と命の循環～ vol. 123

『鳥海山・飛島ジオパークの認定商品を楽しもう！』



一般社団法人鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会事務局次長兼主任研究員
おの まれかず
大野 希一 さん

鳥海山・飛島ジオパークの認定商品「ぺろっと鳥海山・飛島～たのしくおいしいものがたり～」をご存知ですか？これは、地域の食の魅力の発信と地域住民のジオパーク活動に対する理解を深めることを目的に、2018（平成30）年から実施している、食品を対象とした認定制度です。

認定商品の特長は、日本海や出羽山地、鳥海山の存在なしにはつくることができない、という点です。例えば、農作物を育む田畑が広がる平野は、鳥海山の山体崩壊や隆起を続ける出羽山地が削られてできた地形ですし、約1500万年前に生じた日本海は多様な海産物を育む場です。これらの農水産物を育てるうえで必要不可欠な水は、鳥海山に

降る大量の雪や雨に由来するものです。このような大地の営みを商品の特長から語ることができるのが、認定商品です。

認定商品にはカレーや蕎麦、お弁当、ランチメニューといったお店で食べることができるもの、ケーキやパイ、プリン、アイスなどのデザート類、ジュースや日本酒、焼酎などの飲み物、そして漬物に代表される発酵食品や郷土料理などがあり、幅広い世代が認定商品を楽しむことができます。

2025年4月現在、ジオパークのエリア全体で45件の認定商品があります。食から壮大な大地の営みに思いを馳せてみませんか？



▲ 鳥海山・飛島ジオパークの認定商品「ぺろっと」のロゴマーク（左）。認定商品には右のシールが貼ってあります。お店で探してみてください。

文部科学大臣賞などを受賞 第47回未来の科学の夢絵画展

－小・中学校部門で最高賞受賞の快挙－

公益社団法人発明協会主催の「第47回未来の科学の夢絵画展」で、平沢小3年の児玉佳子さん（受賞当時2年）の作品「くまよけリュックサック」が、小・中学校部門で応募総数6,137点の中から見事、最高賞である「文部科学大臣賞」に輝きました。また、同じく平沢小2年の大友爽都さん（受賞当時1年）の作品「自動骨とり装置」も特別賞11点の中の「朝日小学生新聞賞」を受賞しました。児玉佳子さんの作品「くまよけリュックサック」は、「クマが近づいて来た時に、クマの苦手なおいを出して膜を張ることで助けてくれる。においなのでクマが怪我をすることも無い」というアイデアで、昨年、秋田県を騒がせたクマへの対策と動物の命を守ることを両立させた作品です。

本市からは前回の第46回絵画展で、同じく平沢小4年の鈴木歌乃さんが特別賞である特許庁長官賞と世界青少年発明工夫展で銀賞を受賞するなど快挙が続いています。受賞おめでとうございます。



文部科学大臣賞 「くまよけリュックサック」
児玉 佳子さん（平沢小3年） 写真：左

朝日小学生新聞賞 「自動骨とり装置」
大友 爽都さん（平沢小2年） 写真：右

丁刃森・沖の島・蚬満寺の3つの方角石 秋田県指定史跡へ

方角石は方位が刻まれた石で、かつて船乗りが出航の際に風向きや雲の動きを見定める目的で使用され、その多くは港に程近い小高い丘の上にあります。これらは当時の舟運文化を理解する上で貴重な史跡であり、方角石が現存する日和山を一体的に文化財に指定するものです。また、本市においては鳥海山の山体崩壊による流れ山の上に設置している特徴も持ち合わせています。

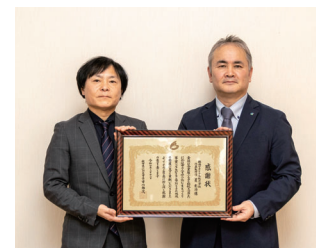


▲ 丁刃森方角石 ▲ 沖の島方角石 ▲ 蚬満寺方角石

寄附・寄贈

企業版ふるさと納税

このたび、那須マテリアル株式会社より3年連続となる寄附がありました。この寄附金は、市の人を呼び込むまちづくり事業に充当されます。



星代表取締役と市川市長

100歳長寿

祝状・祝金贈呈

3月11日、土門澄子さん（小砂川1区）が100歳のお誕生日を迎えられ、市から祝状と祝金が贈呈されました。末永くお元氣にお過ごしください。



土門澄子さんとご家族